



# ネリーズ通信

第19号 2021年6月



編集発行責任者 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会

## ネリーズ紹介 No.16

ネリーズは日々の暮らしの中で、近隣の方たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守りあい、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指している地域の皆さんです。

### 一私にできることをしているだけ

たがわ ぎょうこ  
**田川 暁子さん**

田川暁子さんは大泉ボランティア・地域福祉推進コーナー（以下大泉コーナー）に手編みの作品を寄付していただきます。

田川さんは御年 92 歳!! 毎日 7,000 歩以上歩くことを目標とされているお元気な田川さんにお話を伺いました。

元々編み物の教室を主宰していて、編み物は得意です。編み目を数えるなど頭も使うのでボケ防止になりますし、安いけれど発色の良い糸を探して遠くのお店まで行ったり、色の組み合わせを考えたり、自分も楽しんで編んでいます。『人のためより自分のため』と思っているので、ずっと続けていきたいと思っています。

住んでいる地域は高齢者が多く、介護が必要な方もいらっしゃいます。お子さんが介護されているお宅もありますが、ちょうど 50~60 代と働く世代で、仕事と並行して介護するのは大変です。介護がつかったら我慢せず『つらい』と声を上げていいんだよ、と伝えています。

主人が車いすを利用することになったとき、周りの方は同情していただきましたが、当事者側の気持ちとしては大変さを同情するのではなく理解していただけるとありがたいです。また、おかしいと思ったことはきちんと伝えていただかないとこちらわかりません。車いすを利用しているからと遠慮せず、どんどん声をかけて欲しいと思います。



丁寧に編まれたクッションは大人気!!  
大泉コーナーやバザーなどで販売されています。



こちらも田川さんの手作り。  
泣いているお子さんにあげると  
ピタッと泣き止む効果も!!



「高齢の方へは“大声”ではなくゆっくり、身振りをつけて話したほうがわかりやすい」とご自身の経験から様々なことを教えてくださいました田川さん。地域の方のお話を聞きながらアドバイスをされたり、いろいろなところで地域でのお困りごとなど発信していただく姿はまさにネリーズです。



## 私の一枚 ~ネリーズかるた~

### 認め合う 相手の長所 相手の個性



読み札の作者エピソード：人と人のつながりには、話し合う事、認め合うことが大切だと思います。

ネリーズかるたとは…  
ネリーズになって気づいたことなど、ネリーズ懇談会などで教えていただいたエピソードをもとに、標語や絵もネリーズの皆さんにご協力いただき作成されたかるたです。

### なゆたふらっと※の 鈴木さんが

### 選んだ一枚

色々な思い・考えの人が地域や居場所を作っている。違いがある時こそ話し合い・認め合う努力を忘れずにいたいと思いました。



※なゆたふらっと：石神井地域で長年子どもの居場所づくりをされている団体です。

